

平成27・28年度HTLV-1感染対策事業の 実施状況

医 療 政 策 室
子ども子育て支援課

岩手県におけるHTLV-1感染対策について

現状と取組み

(1) 当県のHTLV-1陽性者の状況

- ア 全県における陽性者の把握方法としては、妊婦健康診査における数値を参考。
妊婦健康診査における陽性者は平成26年度19人(0.21%)、27年度11人(0.13%)となっている。
- イ 平成元年度「岩手県におけるHTLV-1の母子感染調査について」の研究結果、妊婦1,602人中31人(1.9%)の陽性が確認されている。
- ウ 三陸の太平洋沿岸地域は、陽性者が多い地区となっている。

(2) 妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査実施状況(平成21年度～)

本県では、平成21年度より全市町村で実施。(健診第1回目:妊娠初期検査に含まれる)

(3) 岩手県HTLV-1感染対策協議会設置(平成23年度～)

設置:平成24年3月21日

主な協議内容:キャリア等への医療体制、相談体制の構築、事業実施計画等

(4) HTLV-1感染予防対策医療従事者等研修会(平成24年度～)

対象:医師、保健師、助産師、看護師等

- ◆第1回:平成24年 9月22日(土) 内容:講演(基礎編、上級編)HTLV-1の基礎知識等
- ◆第2回:平成25年 9月21日(土) 内容:報告及び講演(疾患別編)「HAMの基礎知識」等
- ◆第3回:平成26年10月25日(土) 内容:報告及び講演「HTLV-1の基礎知識」「ATLの皮膚病変について」
- ◆第4回:平成27年10月10日(土) 内容:報告及び講演「HTLV-1の基礎知識」「HTLV-1 感染予防 Up to date」
- ◆第5回:平成28年11月26日(土) 内容:報告及び講演「HTLV-1の基礎知識」「HAMの基礎知識と岩手県における現状」

(5) 医療・相談支援体制の構築(目指す姿)

岩手医科大学附属病院(血液・腫瘍内科)キャリア外来、盛岡赤十字・県立病院キャリア外来、がん相談支援センター、難病連、市町村、保健所等)

(6) 保健所における抗体検査について(平成26年度～)

27年度実績:抗体検査数 3件(※H28年度:12月末現在 3件、結果は全件陰性)

(7) 普及啓発

保健・医療従事者への普及啓発を実施(研修会の開催、会議等での周知)

県民に対する普及啓発を実施(県ホームページへの掲載)

岩手県HTLV-1感染対策事業の概要

重点施策 (国の総合対策)	厚生労働省	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
1 協議会の設置	HILV-1 対策推進協議会 (平成 23 年度設置) 開催状況 (第 10 回目: H28.7.8)	協議会設置 H24.3.21	H24.8.28	H25.8.27	H26.8.28	H27.9.15	H29.1.31
2 感染予防対策	○妊婦の HTLV-1 抗体検査実施体制の確立 ○保健所における HTLV-1 抗体検査の導入 (専門職の相談指導)	(21 年度妊婦健診項目追加) アンケート調査実施 陽性率: 0.18% (16 人)	陽性率: 0.23% (21 人) 母子保健担当者会議周知	陽性率: 0.19% (19 人)	陽性率: 0.21% (19 人)	陽性率: 0.13% (11 人)	
3 相談支援	○HTLV-1 キャリアや ATL・HAM 患者に対する相談体制の構築 ⇒研修会の開催及びマニュアル等の配布。	・「HTLV-1 キャリア等への医療・相談体制(目指す姿)」作成	普及	普及	普及	普及	普及 H28.11.26
4 医療体制の整備	○精度の高い検査方法開発 ○診療体制の整備 ○診療ガイドラインの策定		・医療保健従事者研修会				
5 普及啓発情報提供	○厚生労働省 HP にポータルサイト作成。国民への普及啓発・情報提供 ○医療関係者等への普及啓発・研修・情報提供			・県ホームページ掲載 ・「岩手県における HTLV-1 関係相談支援窓口一覧」作成	普及	普及	普及
6 研究開発の推進	○研究の戦略的な推進 ○HTLV-1 関連疾患研究費の拡充			協力病院: 9ヶ所			

妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査の実施状況

○各市町村におけるHTLV-1抗体検査の実施状況

告示:「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準(平成27年厚生労働省告示第226号)」

通知:「妊婦健康診査の実施について」(平成21年2月27日雇児母発0227001号雇用均等・児童家庭局母子保健課長通知)

- ・医学的検査の標準的な検査項目として「HTLV-1抗体検査」を追加し、公費負担対象とした。
- ・本県では、産婦人科医会の協力を得て、全国に先駆けて平成21年度より全市町村で実施。
- ・上記告示に、HTLV-1抗体検査は妊娠初期に1回を目安として行うことが規定された。



妊婦医療機関委託健康診査 検査時期と内容															
時期	妊娠初期～妊娠23週まで (4週間に1回)				妊娠24週～妊娠35週 (2週間に1回)						妊娠36週～出産まで (1週間に1回)				合計
	4回				6回						4回				
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	
週数	8-11	12-15	16-19	20-23	24-25	26-27	28-29	30-31	32-33	34-35	36	37	38	39	全14回
公費負担額															
【健康診査】															
健康状態の把握	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
問診															
内診(必要に応じ)															
定期検査	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
子宮底長、腹囲、浮腫															
血圧測定															
尿検査(糖・蛋白)															
身長(初回)、体重															
保健指導	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
【検査】															
血液検査															
血液一般	●							●			●				
血糖	●					●									
妊娠初期検査															
ABO血液型	●														
Rh血液型	●														
間接クームス	●														
梅毒血清検査	●														
B型肝炎抗原	●														
C型肝炎抗体	●														
HIV抗体価	●														
HTLV-1抗体(ATL)	●														
トランスフェリン抗体	●														
風疹	●														
超音波検査			●		●		●			●					
細菌培養同定		●													
											●				
性器クラミジア									●						
●GBS															
【子宮頸がん検診】	●														

妊婦一般健康診査受診票は、県産婦人科医会と協議し、県で参考様式を示している。各市町村で独自に項目を追加し活用している。

県の参考様式

表1 (市町村) 妊婦一般健康診査受診票 参考様式 第1回

委託医療機関の長 様

下記妊婦の一般健康診査を依頼します。 平成 年 月 日 (市町村) 長 印

母子健康手帳番号	交付番号
妊婦氏名	生年月日 S・H 年 月 日 (歳)
住所	市町村-
電話	() 出産予定日 平成 年 月 日

本人記入欄

1 体調は良好ですか。
 良好 普通 不良 (口出血 ・ 口痛み ・ □その他)

2 タバコは吸っていますか。
 もともと吸わない 吸っていたが止めた 現在吸っている (本/日)

3 お酒を飲んでいますか。
 いいえ はい (お酒の種類 を 杯)

4 今の気持ちはいかがですか。
 良い 普通 イライラする 不安である その他

5 相談したいことはありますか。
 なし あり ()

受診年月日 平成 年 月 日 妊娠週数 妊娠 週

《チェック欄》実施した項目に☑を記入してください。

尿検査 蛋白 糖 血圧
 血液検査等 ※下記参照 HTLV-1抗体

《記入欄》検査結果を記入してください。

HbS抗原検査 - ・ +
 HTLV-1抗体検査 - ・ + ・ 判定保留

《通知事項》

健康診査結果 あてはまる項目に○をつけてください。
 (1) 異常なし
 (2) 要指導 (2)~(4)の内容を具体的に記入してください。
 (3) 要精密検査
 (4) 要治療

市町村の保健指導の必要性 あてはまる項目に☑をつけてください。
 不要 ・ 必要 (必要な保健指導の内容を具体的に記入してください。)

氏名 印

(注)
 1. 妊婦一般健康診査を受けるときは、この票及び母子健康手帳を必ず医療機関にお渡しください。
 2. この票は、初めて受ける妊婦健診でご利用ください(11週までの受診が望ましい)。
 3. この健診票では、次の検査等にかかる費用が公費負担されます。
 問診、血圧測定、体重測定、尿一般検査、保健指導、スクリーニングを目的とした超音波検査
 血液一般、血糖、ABO血液型、Rh血液型、間接クームス、梅毒血清検査、B型肝炎抗原
 C型肝炎抗体、HIV抗体価、HTLV-1抗体、トキソプラズマ抗体、風疹、腫瘍標本検査 (ラクト/チャルス/ノスコア)

4. その他の検査や治療にかかる費用は自己負担となります。
 5. この票は、本人以外には使用できません。
 6. この票は、県内の産婦人科医療機関で使用できますが、他市町村に転出された場合は使用できません。
 転出先の市町村から再度交付を受けてください。

※HTLV-1抗体検査結果記載欄を追加(平成27年度~)

保健指導記載欄(医師記載)

○産科医療機関におけるHTLV-1抗体検査の実施状況について

	平成26年度	平成27年度
健診初回受診者(人)	8,844	8,552
陽性者数 (人)	19 (判定保留3名含む)	11 (判定保留1名含む)
陽性率 (%)	0.21	0.13

(H28.11 子ども子育て支援課調べ)

県産婦人科医会のご協力のもと、県内35産科医療機関へ、郵送でアンケート調査を実施。

【調査期間】 平成28年11月11日～12月5日

【回収率】 100%(35産科医療機関)

【調査内容】 陽性者及び判定保留の人数・住所地・栄養方法の選択
母子感染コホート研究協力病院との連携 等



妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査の実施状況調査結果

【調査内容】

- 1 調査目的:平成27年度の県内における妊婦のHTLV-1感染の状況を把握し、感染対策の推進を図るための基礎資料とする。
- 2 調査方法:県内産科医療機関(分娩取扱施設)を対象に、調査票を郵送により送付。記入式。
- 3 調査期間:平成28年11月11日～12月5日
- 4 調査項目:平成27年度におけるキャリア外来の認知状況、スクリーニング検査及び確認検査の実施、陽性及び判定保留妊婦数及び対応等6項目

(※本調査は、県産婦人科医会の御協力のもと、平成23年度から継続実施。)

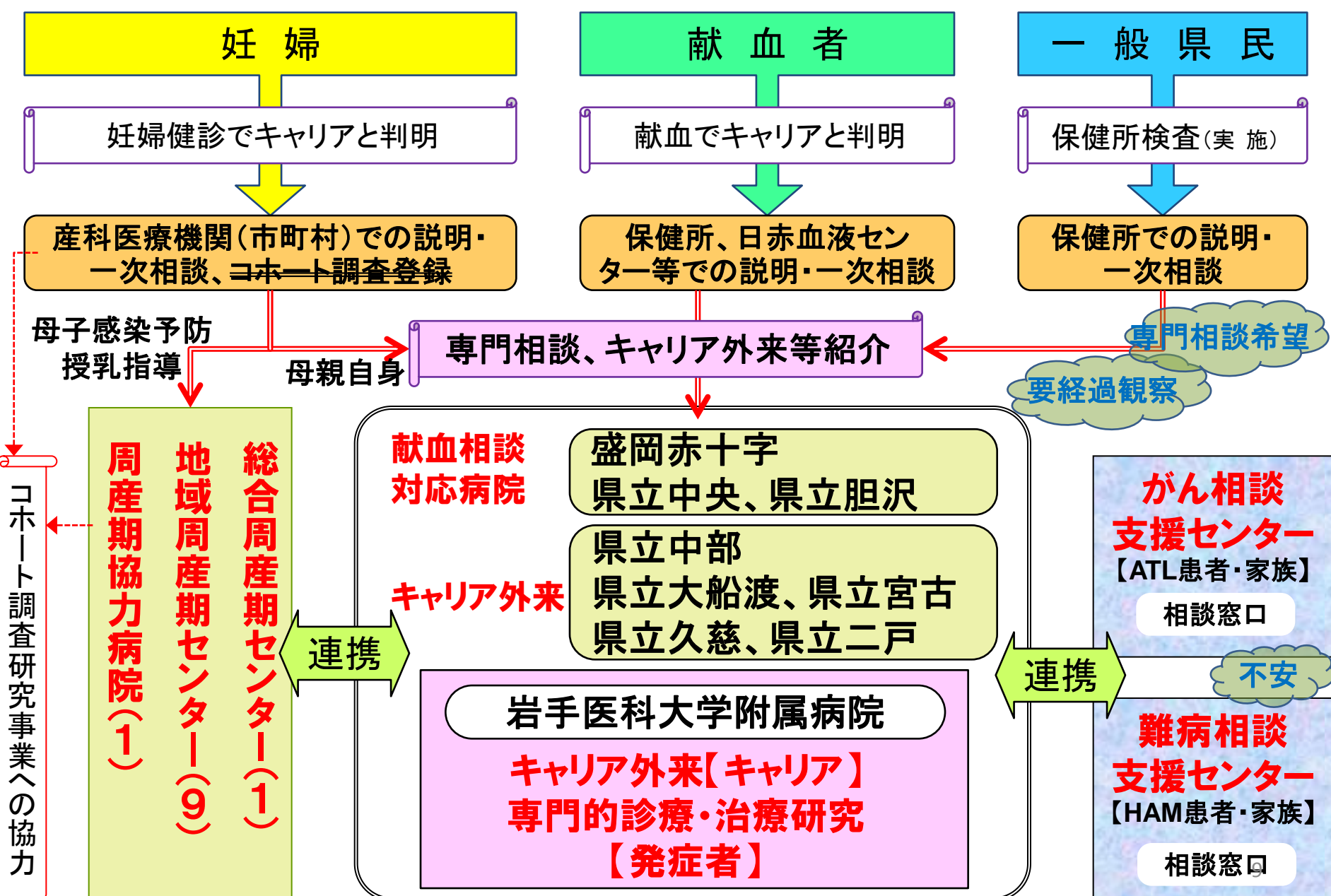
【調査結果概要】(回収率100%)

- 県内のキャリア外来は、6施設が「知らない」との回答があった。
- HTLV-1抗体スクリーニング検査結果を母子健康手帳に記載していない医療機関は1施設であった。
- 県内の妊婦健康診査(1回目)を受診した妊婦は8,552人であり、スクリーニング検査陽性妊婦は22人(0.26%)であった。
- スクリーニング検査陽性妊婦22人中、確認検査を実施した妊婦は21人で、陽性者は10人、判定保留は1人(計11人)であり、妊婦健康診査(確認検査)における陽性率(判定保留含む)は、0.13%であった。
- スクリーニング検査陽性者に対し、確認検査を実施している施設は母子感染コホート研究協力病院以外では6施設あった。
- 協力病院において「他の産科医療機関から紹介され、確認検査を実施した施設」は1件であった。
- 「協力病院に紹介せず、自院で分娩を対応」及び「一時協力病院に紹介し、分娩は自院」と回答した協力病院以外の施設は1施設であった。
また、「児の抗体検査については、特に指導なし」との回答が2施設からあった。
- 新生児の栄養方法としては、完全人工栄養が最も多かった。

HTLV-1感染予防対策医療従事者等研修会開催状況

- 目的: HTLV-1感染予防に携わる医療従事者が、岩手県における課題と対策の方向性を情報共有し、自ら取り組むべき役割を認識することにより、感染予防対策やキャリアへの相談支援体制の充実を図る。
- 主催: 岩手県
- 後援: 岩手県医師会、岩手医科大学附属病院
- 日時: 平成28年11月26日(土)13:30～16:10
- 場所: 釜石地区合同庁舎 大会議室
- 対象者: 医療従事者等
- 参加者数: 19名(医師 2名、保健師 8名、助産師 1名、看護師 6名、患者家族 1名、その他 1名)
- 内容等: **【報告】**
「岩手県における医療と行政が連携したHTLV-1対策について」
説明者: 岩手県保健福祉部 医療政策室感染症担当
【講演】
「HTLV-1の基礎知識について」
講師: 岩手医科大学 内科学講座腫瘍内科学科
教授 伊藤 薫樹 先生
【講演】
「HTLV-1関連脊髄症(HAM)の基礎知識と、岩手県における現状について」
講師: 岩手医科大学 内科学講座神経内科・老年科分野
准教授 米澤 久司 先生

HTLV-1キャリア等への医療・相談支援体制（目指す姿）



妊婦

献血者

一般県民

妊婦健診でキャリアと判明

献血でキャリアと判明

保健所検査(実施)

産科医療機関(市町村)での説明・
一次相談、コホート調査登録

保健所、日赤血液セン
ター等での説明・一次相談

保健所での説明・
一次相談

母子感染予防
授乳指導

母親自身

専門相談、キャリア外来等紹介

専門相談希望

要経過観察

総合周産期センター(1)
地域周産期センター(9)
周産期協力病院(1)

献血相談
対応病院

盛岡赤十字
県立中央、県立胆沢

キャリア外来

県立中部
県立大船渡、県立宮古
県立久慈、県立二戸

連携

岩手医科大学附属病院

キャリア外来【キャリア】
専門的診療・治療研究
【発症者】

連携

がん相談
支援センター
【ATL患者・家族】

相談窓口

不安

難病相談
支援センター
【HAM患者・家族】

相談窓口

コホート調査研究事業への協力

HTLV-1キャリアに関わる医療機関の分布図

H28.12現在

岩手医科大学附属病院

○ 血液・腫瘍内科
(キャリア外来)
毎日(土曜日は第1・4土)

△ 総合周産期センター

○ 県立中部病院
(血液内科外来)月～金

▲ 地域周産期センター(9)
県立二戸、県立久慈
県立中央、盛岡赤十字
県立宮古、県立中部
北上済生会、県立磐井
県立大船渡

■ 周産期協力病院(1)
県立釜石

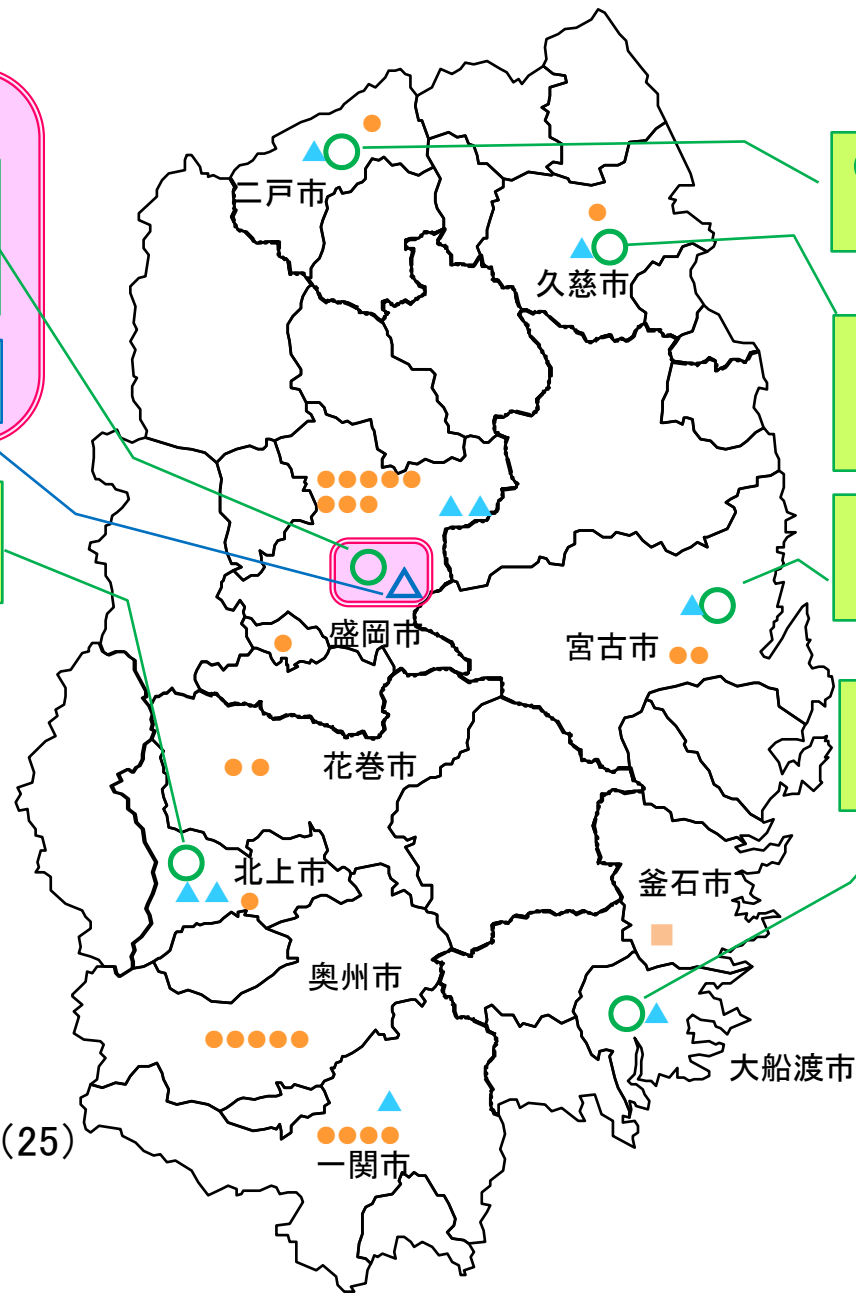
● 妊婦健診取扱開業医等(25)

○ 県立二戸病院
(血液内科外来)月・木

○ 県立久慈病院
(がん相談支援センター)
月～金

○ 県立宮古病院
(血液内科外来)月・木

○ 県立大船渡病院
(血液内科外来)月～木



保健所におけるHTLV-1抗体検査の実施について

○特定感染症検査事業

・平成23年度から、特定感染症検査事業において、HTLV-1抗体検査を国庫補助の対象項目として追加した。

◆性感染症(性器クラミジア感染症、性器ヘルペス感染性、尖圭コンジローマ、梅毒、淋病感染症の5疾患)に関する検査及び相談事業

◆HTLV-1に関する検査及び相談事業

◆HIV抗体検査及び後天性免疫不全症候群に関する相談事業

◆HBs抗体検査、HCV抗体検査及び肝炎ウイルスに関する相談事業

→検討を重ね、平成26年度より、県保健所においてHTLV-1抗体検査を開始市町村及び各医療機関に周知。

保健師等による相談を実施し、必要に応じ抗体検査を実施する体制確保。

相談受理状況①

○27年度実績

1 市町村・保健所

(1) 相談件数 (平成28年11月: 県内各市町村母子保健担当課へアンケート調査実施、各保健所については、定例報告により医療政策室で把握。)

	相談件数(実/延)	再掲(ATL, HAM)
市町村(33ヶ所)	3 / 3	(ATL 0件、HAM 0件、その他 3件)
保健所(9ヶ所)	4 / 4	(ATL 0件、HAM 0件、その他 4件)

(2) 相談手段

電話等

(3) 相談対応者(職種)

保健師

(4) 主な相談内容

- ・献血にてキャリアと判明。精密検査を勧められたが、検査を受けられる医療機関を知りたい。
- ・自分自身がキャリア(母)であり、子どもへの感染が心配。
- ・関連疾患について。

(5) 今後の相談体制の要望等(自由記載)

特になし

【参考】市町村・保健所母子保健担当者会議

3 HTLV-1 (ヒトT細胞白血病ウイルス1型) 母子感染対策について

- ・平成 23 年度から母子保健医療対策等総合支援事業の「生涯を通じた女性の健康支援事業」の一部として、「HTLV-1 母子感染対策事業」を実施している。
- ・本県においては、平成 23 年度に「岩手県 HTLV-1 母子感染対策協議会」を設置（平成 25 年度に「HTLV-1 感染対策協議会」に改編）し、現状や、キャリアに対する医療・相談体制の整備等について検討を行っている。
- ・妊婦健康診査における HTLV-1 抗体検査陽性率（判定保留含む）については、平成 23 年度以降、毎年度、県産婦人科医会の協力を得て、産科医療機関あてアンケート調査を実施し把握しているところであり、今年度についても実施を予定している。
- ・県保健所では、国で示している「HTLV-1 総合対策」に基づき、平成 26 年度から各保健所（県）において HTLV-1 抗体検査を実施している。（担当：医療政策室）
- ・市町村では、妊婦健康診査において HTLV-1 抗体検査を実施しており、被検査者やキャリアに対する相談対応が求められる。
- ・このため市町村、保健所における相談技術の向上を目的として、平成 24 年度から医療従事者等研修会を開催しており、今年度も研修会を開催する予定としている。（時期：調整中。本庁医療政策室と共催）

1 HTLV-1 母子感染対策予防対策（実施主体：国）

保健指導・カウンセリングの体制づくりとして、以下を実施。

- ・ マニュアル（医師向け、保健師等向け）の配布
- ・ HTLV-1 対策全国研修会の実施

2 HTLV-1 母子感染対策協議会（実施主体：都道府県）

- ・ HTLV-1 抗体検査、保健指導、カウンセリング体制の検討・実施状況の把握
- ・ 関係職員への研修
- ・ 普及啓発 等

市町村への依頼事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 妊婦健康診査における HTLV-1 抗体検査結果については、産科医療機関において、母子健康手帳に結果が記載されることから、各種健診や訪問指導等での確認及び相談対応等お願いしたい。 ○ キャリア等への相談対応。
保健所への依頼事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア等への相談対応。
【共通】依頼事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談担当者等を対象とした HTLV-1 に関する研修会への出席。 ○ マニュアル等については、厚生労働省 HP に掲載されている資料を活用願いたい。 ・ HTLV-1 (ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型) に関する情報 http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou29/ ・ ヒト T 細胞白血病ウイルス-1 型 (HTLV-1) の母子感染予防について http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken16/

○子ども子育て支援課主催で開催。(毎年度)平成24年度以降、事業について周知。

【平成28年度開催状況】

日 時 : 5月27日(金)10:00~12:00
場 所 : 県水産会館 大会議室
出席者数 : 市町村40名、保健所12名

●岩手型母子健康手帳

P10(検査の記録)HTLV-1抗体検査結果記入

※「検査結果を記録する場合は、妊婦に説明し同意を得ること」の注意事項を記載している。

母子健康手帳

平成 年 月 日 交付 No. _____
 生年月日 平成 年 月 日生

ふりがな
子の氏名 _____ (第 子) 性別 _____

ふりがな
保護者の氏名 _____

年度 県 市町村 No. _____

相談受理状況②

2 岩手県難病相談・支援センター

◆平成27年度 相談事業実績(疾患別:HAMに関する相談)

相談件数: 103 件 (内訳:患者 88件、家族 5件、その他 8件、
メール相談 2件) (※平成28年度相談件数:33件 12月末現在)

主な相談内容:日常生活の注意点(37件)

医療(17件)

就労(2件)

難病団体に関すること(32件)

関係機関に関すること(13件)

◆患者会

アトムの会岩手支部(設立:平成15年12月20日)

会員数 4名 (患者2名、支援者2名)

(※平成25年1月 NPO法人「スマイルリボン」へ名称変更(全国)。HAM患者会、ATL患者会、キャリアママの会統合)



県内相談窓口

○厚生労働省ホームページ

「HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)に関する情報HTLV-1」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou29/>

＜相談・医療機関検索＞



◆県内の相談窓口◆

○がん相談支援センター
(岩手医科大学附属病院、県立病院8ヶ所)

○難病相談支援センター

○県内9保健所、盛岡市保健所